

青少年の体験活動の推進「体験活動推進プロジェクト」 自己肯定感向上プロジェクト

青少年長期宿泊型体験学習事業

愛媛県教育委員会

【事業のポイント】

青少年が普段と違う仲間と6泊7日間に共に過ごしなが、愛媛県内の各地域の歴史や文化、自然などについての学習、調査、発表体験等を通して、仲間と共に困難や失敗を乗り越える体験を重ねること



1. 企画

(1) 事業実施の背景

青少年が自信をもって成長し、より良い社会の担い手となるためには、自己肯定感をバランスよく育むことが必要である。そこで、小学校高学年の子どもたちが愛媛県内各地域において、自然観察や歴史的町並・近代化遺産の学習などの長期宿泊型の体験学習を行うことにより、郷土の歴史や自然に対する理解を深めさせるとともに、自発的な自己研さんの意識を芽生えさせる機会を与え、子どもたちの自己肯定感の醸成を図ることとした。

(2) ねらい

自然観察や歴史的町並・近代化遺産についての学習など、宿泊型の体験活動を通して、子どもたちに郷土の歴史や自然に対する理解を深めさせるとともに、興味をもった分野に対するさらなる自発的な自己研さんの意識を芽生えさせる機会を与え、子どもたちの自己肯定感の醸成に努める。

2. 実施概要

(1) 実施主体(運営体制)

愛媛県教育委員会事務局社会教育課

指導者 愛媛県教育委員会事務局社会教育課長・主幹・指導係長・指導係員・東中南予教育事務所社会教育課職員・ヤングボランティア支援スタッフ・高校生ボランティア・看護師・ボランティア

(2) 開催実績

| 月 日 | 内 容 |
|-------|------------------------------|
| 8月4日 | 開会式、四国遍路の歴史を学ぶ(住職講話)、調査・発表計画 |
| 8月5日 | お接待体験、調査・結果発表、レクリエーション |
| 8月6日 | 竹細工、自然観察活動、野外炊飯 |
| 8月7日 | 石鎚山トレッキング(石鎚山の歴史・自然を学ぶ) |
| 8月8日 | 内子の歴史・伝統文化を学ぶ(学芸員講話)、野外炊飯 |
| 8月9日 | 旧町並の調査(内子町八日市・護国町並)、調査・結果発表 |
| 8月10日 | 最終発表の準備、発表会、閉会式 |
| | |
| | |

(3) 具体的な取組の概要

8月5日(2日目)

遍路文化調査「お接待体験」を八坂寺と浄瑠璃寺に分かれて行った。初めは、恥ずかしがっていた小学生だったが、時間とともに、積極的にお接待に取り組んだ。「お遍路さんから笑顔でお礼を言ってくれたのでうれしかったです。」、「四国八十八ヶ所回るお遍路さんを元気付けられてよかったです。」等の感想が聞かれた。



浄瑠璃寺にてお接待体験



八坂寺にてお接待体験

8月7日(4日目)

本事業の最大の難関「石鎚山トレッキング」を行った。今日の目標を一人一人にしっかりと持たせて取り組んだ。アップダウンの激しい登山道が続く中、みんなで励まし合いながら、一步一步、歩を進めた。自分に対する強い気持ちや仲間との絆などが試される1日であった。



登山の様子



夜明峠にて

8月9日(6日目)

内子町の八日市護国町並に到着し、各班で調査を開始した。和ろうそく屋やゲストハウスの御主人、劇団や町並保存会の代表の方々など、多くの方々と交流することができた。

報告会では、小学生からは、「内子町の町並を愛し、大切にしていることが伝わってきました。」「内子町にもう一度来て、ゆっくり町並を見学したいです。」等の感想が聞かれた。



インタビュー風景



報告会

8月10日(7日目)

青少年長期泊型体験学習事業「体験・発見・ほっとけん！えひめえ〜とこ探し探検隊！」の最終日。この6泊7日間を振り返る発表会を行った。各班一人一人がそれぞれの思いを発表した。「えひめのえ〜とこ」を見つけていく中で、「自分自身のえ〜とこ」や「仲間のえ〜とこ」にも気付くことのできる発表会となった。

発表会終了後は、愛媛県生涯学習センターに移動し、閉会行事を行った。迎えに来られた保護者の前で、各班の代表者が本事業の感想を発表した。



発表会



閉会行事

(4) 新たな青少年体験活動の推進方策の検討と試行

高校生ボランティアに関しては、小学生のロールモデルとして有効であったため、活動内容とボランティアに要する時間等を考慮して、引き続き、運営スタッフに加える。

活動地域や活動内容等の変更により、協力地域や協力人材の拡大を図る。

活動日数の見直しを図り、応用の利く事業を目指す。

3. 成果と課題

(1) 事業成果

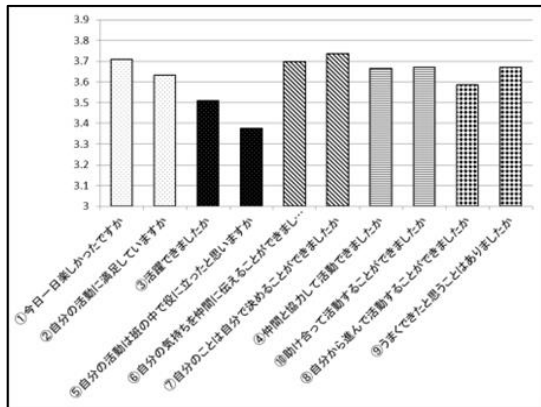
今回の体験事業で育成を見込む主な自己肯定感と、事業中(1日目～6日目)に、小学生に実施した自己評価10項目について、右の表のとおり整理した。

項目別、そして、活動日別の自己評価の平均点を算出したグラフを見ると、項目別では平均点3.3ポイント以上、活動日別では3.5ポイント以上と、高い数値を示している。

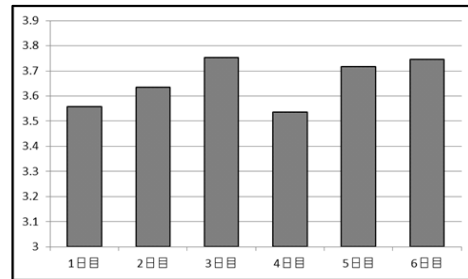
これは、本事業のプログラムが自己肯定感の向上に有効と言えるのと同時に、本事業に進んで参加した小学生の元来の意識や意欲の高さも関係しているのではないかと考える。

| 主な自己肯定感 | 自己評価の項目 |
|---------|-------------------------|
| 自己理解 | ①今日は一日楽しかったですか |
| | ②自分の活動に満足していますか |
| 自己有用感 | ③活躍できましたか |
| | ⑤自分の活動は、班の中で役に立ったと思いますか |
| 自己主張 | ⑥自分の気持ちを仲間に伝えることができましたか |
| | ⑦自分のことは自分で決めることができましたか |
| 協力関係形成 | ④仲間と協力して活動できましたか |
| | ⑩助け合って活動することができましたか |
| 自己実現 | ⑧自分から進んで活動することができましたか |
| | ⑨うまくできたと思うことはありましたか |

育成を見込む主な自己肯定感



小学生による項目別の自己評価(平均点)



小学生による活動日別の自己評価(平均点)

※グラフの最大値は共に4点

次に、本事業が高校生ボランティアの「生きる力」の変容に及ぼす効果を明らかにするために、国立青少年教育振興機構から提供された『「生きる力」の測定ツール(簡易版)』を使用し、28項目について事業前と事業後に調査を行った。事前から事後にかけて3.2ポイントの向上が見られた。その中でも、自己肯定感の向上と関連すると考える「心理的社会的能力」と「徳育的能力」については、1.7ポイントと1.4ポイントの向上が見られた。「身体的能力」については0.1ポイントの向上であった。

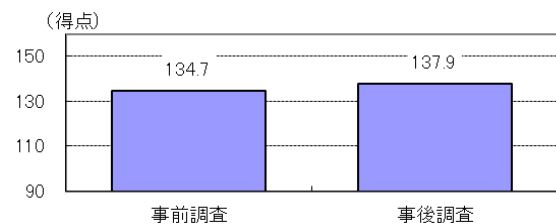
『生きる力』の測定ツール(簡易版)

(生きる力・28項目の集計結果)

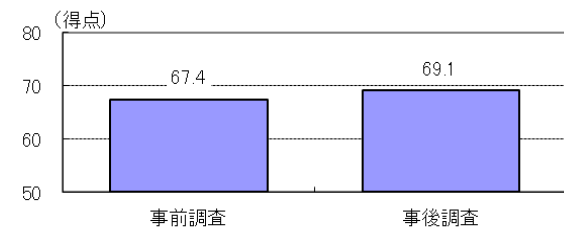
| 能力 | 調査項目 | 事前調査 | | 事後調査 | |
|-----------------|---------------------------|------|-----|------|-----|
| | | M | SD | M | SD |
| 生きる力 | | | | | |
| 心理的社会的能力 | | | | | |
| 67.4 | | | | | |
| 134.7 | | | | | |
| 7.5 | | | | | |
| 137.9 | | | | | |
| 7.4 | | | | | |
| 非依存 | 1. いやなことは、いやとはっきり言える | 4.7 | 1.2 | 5.0 | 0.7 |
| | 15. 小さな失敗をおそれない | 4.7 | 1.0 | 4.8 | 1.1 |
| 積極性 | 11. 自分からすすんで何でもやる | 4.8 | 1.3 | 5.0 | 0.9 |
| | 25. 前向きに、物事を考えられる | 5.1 | 1.0 | 5.0 | 0.9 |
| 明朗性 | 5. だれにでも話しかけることができる | 4.9 | 1.0 | 4.9 | 0.9 |
| | 19. 失敗しても、立ち直るのがはやい | 4.9 | 0.9 | 4.9 | 0.8 |
| 交友・協調 | 7. 多くの人に好かれている | 4.3 | 0.6 | 4.3 | 0.9 |
| | 21. だれとでも仲よくできる | 5.2 | 1.1 | 5.2 | 1.1 |
| 現実肯定 | 9. 自分のことが大好きである | 4.2 | 0.9 | 4.4 | 1.1 |
| | 23. だれにでも、あいさつができる | 5.8 | 0.6 | 5.4 | 0.9 |
| 視野・判断 | 3. 先を見通して、自分で計画が立てられる | 4.3 | 1.1 | 4.7 | 1.0 |
| | 17. 自分で問題点や課題を見つけることができる | 4.3 | 1.1 | 5.0 | 0.9 |
| 適応行動 | 8. 人の話しをきちんと聞くことができる | 5.1 | 0.9 | 5.2 | 0.6 |
| | 22. その場にふさわしい行動ができる | 5.3 | 1.0 | 5.3 | 0.6 |
| 徳育的能力 | | | | | |
| 39.5 | | | | | |
| 40.9 | | | | | |
| 3.6 | | | | | |
| 自己規制 | 14. 自分かってな、わがままを言わない | 4.5 | 0.9 | 4.6 | 1.2 |
| | 28. お金やモノのむだ使いをしない | 3.8 | 1.5 | 4.4 | 1.4 |
| 自然への関心 | 6. 花や風景などの美しいものを、感動できる | 4.8 | 0.8 | 5.0 | 0.9 |
| | 20. 季節の変化を感じることができる | 5.3 | 0.9 | 5.6 | 0.7 |
| まじめ勤勉 | 12. いやがらずに、よく働く | 5.3 | 0.7 | 5.3 | 0.6 |
| | 26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる | 5.5 | 0.8 | 5.5 | 0.5 |
| 思いやり | 2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ | 5.3 | 0.7 | 5.3 | 0.9 |
| | 16. 人の心の痛みがわかる | 5.0 | 1.0 | 5.3 | 0.6 |
| 身体的能力 | | | | | |
| 27.8 | | | | | |
| 27.9 | | | | | |
| 4.6 | | | | | |
| 日常的行動力 | 13. 早寝早起きである | 4.3 | 1.2 | 5.0 | 1.0 |
| | 27. からだを動かしても、疲れにくい | 4.2 | 1.9 | 4.1 | 1.9 |
| 身体的耐性 | 4. 暑さや寒さに、まけない | 4.8 | 1.1 | 4.3 | 1.4 |
| | 18. とても痛いケガをしても、がまんできる | 5.0 | 1.0 | 4.8 | 0.7 |
| 野外技能・生活 | 10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える | 5.0 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |
| | 24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる | 4.5 | 1.6 | 4.7 | 1.2 |

*各項目で「とてもあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点としてそれぞれ1点刻みで得点化し、項目ごとに平均点 (M) 及び標準偏差 (SD) を算出

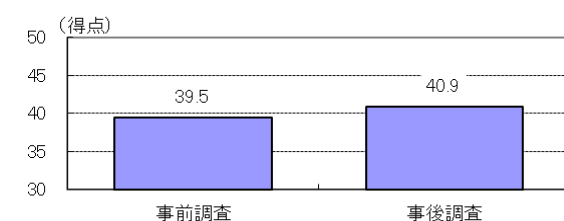
「生きる力」の変容(特定範囲: 28~168点)



「心理的社会的能力」の変容(特定範囲: 14~84点)



「徳育的能力」の変容(特定範囲: 8~48点)



(2) 事業運営上の課題

運営面に関しては、6泊7日間の長期間であるために引率者等の確保が難しいことと、その負担が大きいことが挙げられる。引率者の中には、小学生を引率することに慣れていない看護師や高校生ボランティアも含まれ、宿泊も伴うため、心身両面で負担が大きい。

(3) 事業成果の普及啓発の課題

愛媛県教育委員会のホームページで紹介したり、事業報告書を作成し、各教育関係者に配布したりすることで事業内容及び成果を周知している。更に、事業成果の普及啓発を図るため、事業報告をする場を増やしていきたい。また、指導者の増加や一部を入れ替えることで、指導人材の育成を図るとともに、本事業経験者を増加させることで、事業成果の普及啓発に努めていきたい。

4. 団体プロフィール

我々、「体験・発見・ほっとけん！えひめえ〜とこ探し探検隊！」は、愛媛県内小学校20校から小学校5・6年生28名と同じく高校9校から高校生ボランティア14名、そして、愛媛県教育委員会事務局社会教育課を中心とした指導者23名、合計65名です。

平成30年8月4日から10日までの6泊7日間、愛媛県内の各地域での特色ある体験学習を一緒にやり遂げた仲間です。暑さにも負けず、ホームシックにも負けず、仲間とともに乗り越えました。

夏休み、最高の思い出ができました。



【連絡先:愛媛県教育委員会事務局社会教育課指導係】

TEL:089-963-2111 Fax:089-963-4526

国立大洲青少年交流の家にて